

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490600200	事業の開始年月日	平成25年4月1日	
		指定年月日	平成25年4月1日	
法人名	株式会社 翔栄			
事業所名	メープル岡沢館			
所在地	(〒225-0013) 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岡沢町333-1			
サービス種別 定員等	<input checked="" type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	25名	
		通い定員	15名	
		宿泊定員	9名	
		定員計	名	
		ユニット数	ユニット	
自己評価作成日	平成27年3月10日	評価結果 市町村受理日	平成27年6月1日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

住み慣れた地域で無理なく今迄の生活が続けられるよう、ご利用者様・ご家族様のご意向に沿えるよう、岡沢館をご利用して頂いています。ご利用者様・ご家族様のご意向に合わせての送迎時間の調整(7:00~22:00)
例：ご家族様が仕事の為、朝の送迎は7:00、帰宅はご家族様と連絡を取り19:00以降、又ご家族様のご意向により夜19:00の迎え、22:00の送り等も対応させていただきます。

食事は好きな物召し上がって頂く為、全て手作りで提供させて頂いています。在宅生活の不安を解消し、ご利用者様・ご家族様の負担軽減の為に通院介助等も行い、岡沢館が身近な存在になれるよう努めてまいります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成27年3月31日	評価機関 評価決定日	平成27年4月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の優れている点】 ◇利用者や家族の要望に合わせた柔軟な対応 ・理念の「住み慣れた地域での生活支援・地域に信頼される家庭的でぬくもりのある施設」実践を目指し、利用者や家族の要望に応じて柔軟にサービスを組み合わせ提供している。 ・送迎時間を、早朝出勤や終業が遅い家族の要望に応じて設定し、急なサービス変更にも対応している。また、泊りの多い利用者には、日課に縛られることなく自宅と同じように過ごしてもらっている。 ◇利用者・家族に安心感を与える健康管理 ・看護師が毎日行うバイタルチェックのほか、提携医が往診日以外にも定期受診や緊急時に備え事業所を訪問して利用者の健康状態を確認するなど緊密に連携している。 また、かかりつけ医の受診にも希望により看護師や管理者が同行している。</p> <p>【事業所が工夫している点】 ◇利用者の好みに応じた趣味活動の提供 ・月1回外部講師に依頼して「トールペイント」を行い、指導日以外でも取り組んでいる。回を重ねるごとに様々な作品ができ、利用者の楽しみになっている。 ・職員がイラスト入りの「計算プリント」を、個々の利用者に合わせて作成しており、利用者は意欲的に計算に取り組んでいる。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	メープル岡沢館
ユニット名	—

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご利用者の来館時には、ご自宅に居る時と同じように過ごせるよう毎日のミーティングにて基本理念を確認している。	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の「住み慣れた地域での生活支援・地域に信頼される家庭的でぬくもりのある施設」を、毎日のミーティングで確認している。 ・職員は、利用者に家庭と同じように過ごしてもらえよう、見守りながら支援に努めている。 	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会員には継続して加入しております。当施設で行う行事に参加して頂けるよう日頃から交流をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に加入しており、利用者が自治会主催の「あじさい祭り」に参加し、事業所のクリスマス会には、地域住民が参加して交流している。 ・地域ケアプラザの「介護の集い」に協力し、地域住民の事業所見学を受け入れている。 	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会の行事等で近隣の方とお会いする時は、認知症の方との接し方等お話させて頂いている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での情報交換を大切に、当施設での行事に取り入れられることは積極的に行動しサービス向上に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長・地域包括支援センター職員・利用者家族などをメンバーとして、2か月に1回開催している。 ・事業所の現状を、写真や書面で報告して意見を貰い、また、自治会の行事や地域のボランティア情報を得て運営に反映している。 	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターには、ご利用者の状況報告を常に行い、情報やアドバイスを頂いている。ご利用者の紹介も引き続きして頂いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・区の高齢障害支援課担当とは、介護保険や運営面での相談をして、日常的に連携している。 ・地域包括支援センターからは、情報やアドバイスをもらい、利用者も紹介してもらっている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	認知症ケアの研修に参加している職員を中心に、拘束をしない認知症ケアの仕方を指導している。	・身体拘束禁止防止マニュアルの研修や読み合わせを行い、身体拘束のない介護に取り組んでいる。 ・朝のミーティングで、管理者が言葉遣いや車いすの使い方が拘束にあたらないかを振り返り、注意喚起している。玄関は常時開錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者、職員が虐待についての知識を学び、職員全員が訪問時や送迎時に、見過ごすことのないように注意をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご利用様に安心して生活が出来る様、管理者・職員が制度についての知識を高め支援をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	インホームドコンセプトの徹底を行い、ご利用様が不安にならないよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様からの意見や要望は、連絡帳や送迎時、ご家族様が来館した際には、時間をとりお話をさせて頂きサービスの見直しが必要な場合は、その都度検討している。	・家族の意見・要望は、連絡帳の活用や送迎時、来所時に聞いている。 ・管理者は、家族の要望を聞くために面会時間を調整して丁寧に聞き取ることに努めている。 ・聞き取った意見や要望は、検討してサービスに反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、職員の声をしっかり聞き、どんな事もすぐには否定することなく話し合いには時間を多くとっている。	・管理者は、朝のミーティングや申し送り時に職員から意見を聴く機会を設けている。 ・玄関からデッキへの靴の履き替えや洗濯物の干し方など、細かな意見でも全職員が統一したサービスが提供ができるよう運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の体調管理、家族を大切にしてくださいよう無理のないような出勤体制をとり、元気に業務に集中出来る様努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員のスキルに合わせて勤務時間内に指導の時間を設け、一人ひとりの介護技術向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	代表者は、他の施設への見学、交流を行い、関係性の向上に努め、互いによりよいサービスを支援出来る様にしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初めてサービスを受けるご利用者様の不安な気持ちをしっかりとくみとり、安心して頂けるようひとつひとつ不安を取り除くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の不安な思いはご利用者様とは別であることを認識し、介護保険制度の事から時間をかけてわかりやすくお話させていただいている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	実際にサービスを行う前に、ご本人様、ご家族様との話し合いをしっかりと行い、今必要なサービスは何かを見つけ出せるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様気持ちをいち早く察して、「あなたは一人ではない」と、コミュニケーションの中で信頼関係を築くようにしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、ご家族様の介護の思いをしっかりと受け止め、疲れを開放に向かうように支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出時や送迎時で、自宅近くの昔から通っていた商店などで買い物をして頂き、馴染みの方との関係性を継続して頂けるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時の家族の話や利用者との日常会話で、友人や馴染みの商店などの情報収集に努めている。 ・送りの時間を利用して馴染みの商店で店主と話したり、友人の来訪時には個室で歓談してもらうなど、関係の継続を支援している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様のこれまでの生き方など、職員全員が把握し、ご利用者様の気持ちを大切にしながら上手くコミュニケーションとれるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了時に、関係が無くならない様お話をさせて頂き、必要なことがあれば出来る限り支援をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様一人ひとり、今後の暮らし方の希望、意向は違う為、時間をかけて話し合いをしている。	・利用開始時に利用者や家族から希望や意向を聞いている。入所後慣れたころ、改めて時間を掛けて思いや意向を確認している。 ・把握が困難な方には、筆談や表情から判断している。把握した情報は、「スタッフノート」で共有し本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス提供後も、今までの暮らし、生活習慣などを大切にしていける為、医療・介護の連携を大切にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者様一人ひとり違う人生を送られていることを認識し、ご利用者様にあったサービスを提供出来る様工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス開始時には、ご利用者様・ご家族様とこれからのケアの仕方、ご家族の生活環境を把握し、状況が変わった際には、その都度対応させていただいている。	・介護計画は、アセスメントシートや毎日の介護記録を参考に利用者・家族の希望を聞いて作成している。 ・計画は、通いの際に利用者を観察して毎月居宅介護支援経過を記録し、通常6か月、変化があれば随時見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、朝のミーティングにて、宿泊時のご利用者様の状況、来館されるご利用者様の状況を職員全員が周知し、プランの変更が必要の際には、ご家族様に連絡を取り変更を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様、ご家族様の希望に添えることが小規模多機能のサービスの良さと説明させていただき支援をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	サービスを利用していても、外泊・来訪などご利用者様が今の生活を楽しみながら当施設を有効活用して頂けるよう日頃から心掛けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様及びご家族様の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築くようにしている。又、緊急時に協力医が対応出来る様、定期的に協力医に来館して頂きご利用者様との関係を築くようにしている。	・以前からのかかりつけ医での受診を支援しているが、7割は提携医をかかりつけ医としている。 ・提携医は往診時以外でも来訪して利用者の相談に乗っている。また、毎日の健康チェックは看護師が行っており、利用者の健康管理を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、日々ご利用者様の変化に気づき、記録に残し看護師に伝え医師との連絡、指示を仰ぎ受診が必要な時はすぐに受診を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院される際には、管理者と看護師が病院に付き添い、病院関係者に情報を提供し、その際に病院関係者との関係性を築いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	職員全員に、マニュアルにてターミナルケアの研修を行っていることを、ご利用者様・ご家族様にお話をし、医師との連絡を密に取り、ターミナルを受け入れる支援体制を取っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に、終末期にも対応できる旨家族に伝え、要望を聞いている。 ・ターミナルケアに向け、提携医との連携がとれており、看護師や職員による支援体制も整っている。 ・職員には、マニュアルを基に研修を行っている。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に救急対応についての講習を管理者、看護師を中心に行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練の実施にて、職員全員の意識を高め、その際に気付いた事をミーティングにて話し合い、災害時の行動を身につけるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画に基づき、地震と火災対応の避難訓練を、利用者も参加して実施している。 ・運営推進会議を通して地域住民に訓練参加を呼び掛けている。 ・水と食料、ヘルメットなどを備蓄している。 	・夜間対応の避難訓練の実施についても、消防署や地域住民の協力を得て、実行に移すことが望まれます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様一人ひとりの人間性を大事にし、そのご利用者様に合った対応の仕方を職員全員が周知し、プライバシー、個人情報の取扱いについては、マニュアルにて研修を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員がプライバシー保護や個人情報取り扱いマニュアルを研修し、利用者の誇りに配慮した対応に努めている。 ・利用者には個々の生活歴などに配慮して声かけしている。管理者は気になる言葉遣いには、その場やミーティングで指導している。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	サービスを利用していても、生活の中での選択はご利用者様にさせていただくよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の今までの生活習慣、生活のリズムを大切に、希望に沿った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	送迎時に、洋服の選択をご利用者様の意向を尊重し一緒に選んだり、お化粧の声かけをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の支度や片付けは出来る範囲でご利用者様に手伝いをして頂き、ただ出された食事を召し上がるのではなく、自分達で用意したとの達成感を持つように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・配食業者の献立をもとに、専任調理職員が利用者の好みや体調に合わせて調理している。行事食の提供や、季節の一品を加えるなど、食事を楽しめるよう配慮している。 ・利用者は配膳を手伝い、週1回、皆でメニューを決めておやつ作りをしている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	看護師、介護士はご利用者様の食事量、水分量、体重等を必ず記録に残し体調管理を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行い、受診が必要な場合は、協力医の受診をし指導を受け支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自宅ではオムツを使用されているご利用者様も、当施設では日中、夜間を問わずトイレの声かけ、トイレ介助を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・原則オムツは使わず、排泄チェック表の活用や様子の観察でトイレ誘導や声掛けを行い、さりげなく見守りにて排泄の自立を支援している。 ・夜間でもトイレ誘導し、ポータブルトイレを使用する際もトイレでの排泄に戻れるよう支援している。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バランスの良い食事を提供することや、体操などで体を動かし便秘の改善に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者様、ご家族様の希望に出来る限り添えるように入浴の時間を調整し、満足して頂ける入浴をしていただくよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者それぞれの希望に配慮して、入浴時間を調整している。必要に応じてリフト浴を行っている。 ・希望があれば同性介助し、一人で温まりたい利用者には、脱衣所から目立たないように見守っている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後等に、お部屋で横になりたいとの訴えがあった場合でも、すぐに対応出来る様、一日の部屋の調整を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	来館時は、看護師の管理・指導の元職員も行い、訪問時の服薬も看護師の指示で行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日違ったレクメニューになるようにご利用者様と一緒に考え行い、創作活動では、ご利用者様自身の役割をもっていただき完成時の達成感を実感して頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域の方に提案して頂いた、ボランティアの協力を得て、クリスマス会では、実際にボランティアの方に来館して頂き、本格的な手品を披露していただいた。	・事業所周辺を散歩したり、近隣のコンビニに買い物に行く利用者につき添うほか、受診の送迎に同行、家庭訪問時に利用者と近隣を散歩するなど、個々の希望に応じている。 ・天気が良い日はテラスで外気浴を行う利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物の際には、出来る限りご利用者様と一緒に行き、ご利用者様自身で値段を見て頂き一緒に計算をし、買い物をして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	来館時には、いつでもご自分がお持ちいただいた携帯電話を使えるようにしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中は、なるべく日光が入るようにし、夕方からは心地よい明るさになるように照明を調整している。	・大きな窓のある広いリビングには、食卓やソファ、テレビを置き、居心地よく過ごせる空間になっている。調理の音や匂いも感じられる。 ・利用者の要望や様子を見て室温調整や換気し、カーテンで日差しを調整している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア内での行動に決まりはなく、ご利用者様が行きたい所に行けるよう、他のご利用者様と楽しめるよう安全なフロアを維持している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	宿泊されているご利用者様は、ご家族様の写真、ご自分でお持ちいただいた人形等を置かれ個性ある部屋になっている。	・エアコンや介護用ベッドなどを設置し、室温調整や掃除、布団干しなどで利用者が気持ちよく過ごせるよう支援している。布団を使用したい利用者には和室を提供している。 ・人形や置時計など、好みの物を持ち込む利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗濯物のたたみ、下膳、レクリエーションの際の後片付けを職員と一緒にやる事を習慣にして頂き、実際にご利用者様にも手伝いをして頂いている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 メープル岡沢館

作成日 平成27年5月24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	より地域に開かれた事業所にするため、地域の方が施設を訪問する機会を増やしたい。 近隣の大学生に焦点をしばって広報活動を行う。	発表の場を求めているサークルやクラブに施設を訪問してもらう。	横浜国大の音楽系のサークルに連絡を取るため、学生支援課にコンタクトして、広報活動→代表者と接触して当施設での発表活動を行っていく。	6か月
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。